

人工骨頭置換術 患者さんパスシート (No.1)

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/
経過	入院日（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術の物品を準備しましょう。 手術について理解しましょう。 麻酔について理解しましょう。 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 13時から15時の間に麻酔科の診察があります。
薬	 <ul style="list-style-type: none"> 薬を内服されている方は入院時にお薬手帳と一緒に20日分をお持ち下さい。 医師・薬剤師が確認し、入院中も継続するかどうか判断します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 特に検査はありません。 外来で実施されていない検査を行う場合があります。 
処置	<ul style="list-style-type: none"> 外転枕の準備をします。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 決められた安静度を守りましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 21時から食べられません。 24時から水分を飲めません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体拭き又はシャワー浴をします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 医師から手術の説明があります。手術する側の手掌にマーキングします。 看護師から入院生活、手術前後の処置、必要な物品、手術の流れ、腓骨神経麻痺の予防について説明があります。（別紙1参照） 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔について説明があります。 手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かりします。 パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、脱臼予防の説明をします。（P1～P9） 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

人工骨頭置換術 患者さんパスシート（No.2）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/
経過	手術当日（手術前）
達成目標	・不安がなく手術に臨みましょう。
治療	・10時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。
薬	・内服はできません。 ・医師の指示で内服がある場合はお伝えします。 
検査	
処置	・手術前に深部静脈血栓予防のため、弾性ストッキングを着用します。
排泄	・特に制限はありません。
活動	・決められた安定制度の中で体を動かしていきます。
食事	・食べたり飲んだりできません。 
清潔	・洗面、歯磨きは行うことができます。
説明指導	・手術室に向かう前に浴衣に着替え、弾性ストッキングを履きます。 ・貴重品（指輪・時計・義歯・ネックレスなど）は金庫にしまうか、ご家族にお預けください。ご家族が来院されない場合、金庫の鍵は看護師にお預けください。 ・外れやすい歯やぐらつく歯がある場合は、事前に看護師へお知らせ下さい。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

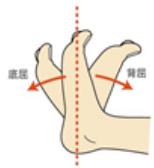
人工骨頭置換術 患者さんパスシート（No.3）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	
経過	手術当日（手術後）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛を緩和して過せるようにしましょう。 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> 手術翌日の朝まで点滴を行います。 酸素マスクをつけます。 点滴から痛み止めを流します。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、基本的に薬は飲みません。 翌日から内服が開始になります。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 手術終了後、レントゲン撮影と採血があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 深部静脈血栓症の予防のため術後2週間は弾性ストッキングを着用し、フットポンプを装着します。 手術後は患肢が内転しないよう外転枕で足を固定します。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などを1時間毎に観察します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は尿を排泄するための管が入っています。 排便はベッド上で行います。（看護師が支度や片付けを行います）
活動	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上で安静にしますが、90度まで体を起こすことが出来ます。 起き上がるときや体の向きを変えるときは看護師を呼んで下さい。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事は召し上がれません。 水分は酸素マスクが外れたら、飲むことができます。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 顔を拭く、うがい、歯磨きなどお手伝いします。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、点滴やドレーンを誤って引っ張らないよう注意しましょう。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせ下さい。 外転枕は2週間装着します。外転枕の固定バンドによる腓骨神経麻痺予防のため、腓骨頭（膝の外側にある突起）を圧迫しないよう注意しましょう。 外転枕の位置がずれたら正しい位置に戻しましょう。 足首の動かしにくさやしひれ、違和感などを感じた場合は、すぐに看護師に伝えましょう。 ベッドにいる時は血栓予防のため足首の運動をしましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2022年10月改訂



人工骨頭置換術 患者さんパスシート（No.4）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	/
経過	術後 1 日目	術後 2 日目
達成目標	• 車椅子に乗車しふでから離床しましょう。 • リハビリを始めましょう。 • 転倒に注意しましょう • 痛みが強い場合には我慢せず看護師に伝えましょう。	
治療	• 食事がしっかり摂取できたら抗生素質の点滴だけになります。	• 医師が傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。
薬	• 食事が開始すると、元々内服していた薬が再開となります。 • 痛み止めの内服薬が毎食後処方されます。 • 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせ下さい。	
検査	• 朝、採血があります。	
観察	• 体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などについて観察します。	
排泄	• 尿の管を抜いて、車椅子でトイレに行きます。	
活動	• 車椅子移動を開始します。 • 移動が安定するまでは、看護師が付き添います。	
リハビリ	• リハビリ室でのリハビリが開始します。 • 病室でのリハビリは看護師と行います。	
食事	• 朝から手術前と同じ食事が始まります。	
清潔	• タオルで体を拭くお手伝いをします。	
説明指導	• 痛み止めの内服方法について説明します。 • 今後のリハビリ、手術した足の安静度について、パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、看護師が説明します。（P10～P13）	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

人工骨頭節置換術 患者さんパスシート（No.5）

氏名		診療科名	整形外科
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	/
経過	術後 3~14 日目	術後 15~17 日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 病室、リハビリ室でのリハビリを行いましょう。 転倒に注意しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活をイメージしてみましょう。 転倒に注意しましょう。
薬	・飲んで頂く薬の説明をします。	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 術後は 1 週間に 1 回採血を行います。（4 日目、7 日目、14 日目） レントゲン撮影は手術後の経過に応じて行います。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態に応じて、必要時消毒を行います。 術後 14 日目に創部の抜糸を行います。 	
観察	・体温、脈拍、血圧、呼吸、傷の状態（出血の有無、痛みの程度）、足の位置（腓骨頭が圧迫されていないか）、足首の背屈運動の有無などについて観察します。	
活動	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示が出たら体重を足にかけられます。 手術した足以外の制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 術後 15 日目から外転枕、フットポンプが外れます。 ご自身で横を向くことができます。
リハビリ	・4 点歩行器または松葉杖で歩行訓練を行います。「股関節の手術を受けられる方へ」P11~P12 参照	・杖を使用して歩行訓練を行います。「股関節の手術を受けられる方へ」P13 参照
食事	・制限はありません。	
清潔	・抜糸までは体拭きを行います。	・医師の許可がでるとシャワー浴が可能となります。 
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット「股関節の手術を受けられる方へ」に沿って、脱臼予防の説明をします。（P1~P9） 退院後の外来診察日について説明します。 保険などの書類は、退院日に本館 1 階 A ブロック文書受付窓口にお出し下さい。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。